

河川整備の課題と方向性（1／3）

■ 社会・経済・県土条件

① 災害に対し脆弱な県土環境（地形・地質・気象）

- ・有明海沿岸の低平地・軟弱地盤、県西部の地すべり、梅雨期・台風期の豪雨

② 災害外力の増大

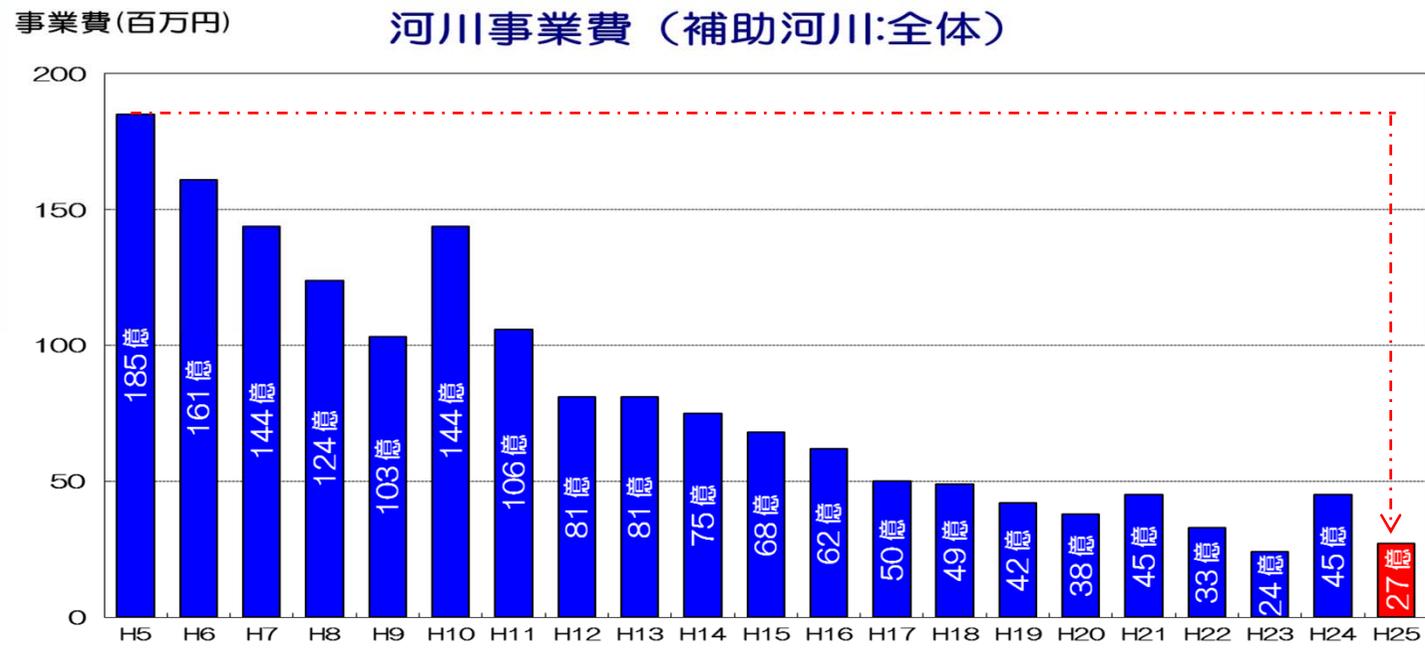
- ・地球温暖化等に起因する気候変動（海面水位の上昇、豪雨や台風の激化等）
- ・水害、土砂災害、高潮災害等の増大（特に低平地での内水被害・高潮災害等）

③ 人口減少・高齢化・過疎化等の進展

- ・地域コミュニティの衰退（自助・共助力の低下、地域防災力の低下）

④ 財政的制約

- ・河川・砂防予算はピーク時の約1/7に低下



河川整備の課題と方向性（2/3）

■ 河川整備の課題と方向性

①守るべき対象の明確化

- ・財政的制約の中で全てを守ることは困難／選択と集中
- ・どのような場所をどの程度の安全度で守るか／達成目標の明確化
- ・ハードが間に合わない場所は、ソフトで人命被害だけは最低限回避

②ハード・ソフト一体となった防災・減災対策

■施設を中心とした対策

- ・連続堤防等の整備は引き続き重要／安全・安心の基本的条件
- ・氾濫することも視野に入れた被害最小化対策／氾濫拡大防止対策（輪中堤、二線堤、宅地嵩上げ、遊水池、雨水貯留・浸透施設等）
- ・既存施設の徹底活用／質的改良（ポンプ運転の最適見直し、堤防補強など）

■土地利用の規制・見直し・安全な住まい方からの対策

- ・氾濫域における災害危険区域指定／新規居住の抑制、移転誘導等
- ・建築物の耐水化（ピロティ構造）
- ・コンパクトシティなどのまちづくりと一体となった安全確保（まちづくりに治水の観点を考慮／道路・鉄道等を活用した輪中堤、二線堤等）

■危機管理を中心とした対策

- ・情報伝達、避難、救助、復旧・復興等を踏まえた広域支援体制の確立
- ・高架道路、堤防道路、防災拠点等を結ぶ防災ネットワークの構築（大規模浸水被害時等における救援輸送道路等の確保）
- ・ハザードマップの提供／ICTを活用したリアルタイム防災情報の共有

③維持・管理・更新

- ・S40～S50年代に設置した排水機場等の大規模施設の更新が今後集中
- ・河川維持管理計画の策定／長寿命化（アセットマネジメントの導入等）
- ・住民との協働による河川維持

④その他

- ・自然環境、暮らし環境と調和した「多自然川づくり」の推進
- ・地域活性化に資する川づくり（水辺を活かした交流と賑わいの水辺空間整備）
- ・耐震性能照査指針（レベル2地震動）改訂に伴う河川管理施設の耐震対策



H19. 7豪雨

須古川(白石町): 浸水により孤立した家屋



H18. 9台風13号

福所江(佐賀市): 高潮による越波災害



H18. 9豪雨

立川(伊万里市): 家屋58戸が浸水

河川整備の課題と方向性 (3/3)

■ 河川整備の短期・中期目標

① 河川整備の目標と現状

- ・県管理河川においては時間雨量60mm程度の降雨対応を当面の目標
(大きい河川:計画規模1/30~1/50、中小河川:計画規模1/5~1/10)
- ・県管理河川の整備率(=整備済延長/要整備延長)はH24年度末で約5割弱と、未だに低い状況

② 河川整備の重点化

自然外力の増大化に注視しつつも、県内河川の整備水準が未だに低い状況を踏まえると、まずは「当面の目標」に対する安全度の確保が重要

- ・事業継続箇所の早期完成/事業長期化を防止/「選択と集中」
(財政的制約の中、災害対応を除き新規事業採択は困難)
- ・市街地部を優先して整備
(県民生活に深刻なダメージを与える家屋浸水や幹線道路冠水等を優先)

③ 効果の見える河川事業への転換

重要性・緊急性を考慮した事業の重点化により、治水効果の早期発現が図れる一連区間(概ね5ヶ年で整備)を設定

- ・越水・溢水箇所(治水レベルが特に低い一連区間など)
- ・治水上のネック箇所(狭窄区間、橋梁、堰などの構造物)
- ・地域プロジェクト等との関連箇所(一体的整備により相乗効果)
- ・背後地の土地利用等から設定される一連区間

④ 多様な主体との連携

- ・これまでの連続堤防整備や排水ポンプ設置に加え、市町とも連携した輪中堤、二線堤、宅地嵩上げ、雨水浸透貯留、遊水池等の対策を実施
- ・人口減少・高齢化社会における集約型まちづくりと連携し、県民の安全な居住地の選択を支援・誘導/(想定氾濫区域、土砂災害警戒区域等の災害危険区域情報の提供など)
- ・住民・ボランティア・CSO・水防団等とも連携した自助・共助力の強化
(情報伝達、避難、救助、復旧・復興等の各段階での取組)



寒水川放水路(みやき町):H21年度完成
(直轄の寒水川水門新設事業との連携)



巨勢川調整池(佐賀市):H20年度完成
巨勢川上流工区及び黒川の重点整備
(直轄の巨勢川調整池新設事業との連携)